

## 2024年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：

情報処理科3年制

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
31	Java演習 I	2	30	1.5	必修	実習	無
32	Java演習 II	2	60	3	必修	実習	無
33	Java文法 I	2	30	2	必修	講義	無
34	Java文法 II	2	30	2	必修	講義	無
35	WEBプログラミング	2	60	3	必修	実習	無
36	JavaScript	2	60	3	必修	実習	有
37	UML I	2	30	2	必修	講義	有
38	CCNA基礎 I	2	60	3	必修	実習	無
39	Linux I	2	60	3	必修	実習	有
40	Linux II	2	60	3	必修	実習	有
41	LPIC/LinuC対策 I	2	30	2	必修	講義	有
42	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
43	進級制作	2	60	3	必修	実習	無
44	FE科目A対策 II	2	30	2	必修	講義	有
45	FE科目B対策 II	2	30	2	必修	講義	無
46	基礎英語 I	2	30	2	必修	講義	有
47	基礎英語 II	2	30	2	必修	講義	有
48	ビジネス数学	2	30	2	必修	講義	無
49	一般常識 I	2	30	2	必修	講義	無
50	就職対策 I	2	30	2	必修	講義	有
51	就職対策 II	2	30	2	必修	講義	有
52	ビジネスマナー II	2	30	2	必修	講義	有
53	簿記	2	30	2	必修	講義	有
54	体育実習 II	2	30	1.5	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Java演習 I		井元和彦	無	1.5 単位 30 時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Javaによるプログラム作成の基礎を身に付ける。ソースプログラムの作成、コンパイル、実行、エラーへの対応を独力で行うことを目指す。

## 【講義概要】

文法の講義で学んだ内容を実機で動かして確認する。さらに、学習した機能を組み合わせてより複雑なプログラムを作成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	ソースコードの入力/コンパイル/実行/インデント/算術演算子/文字列の入出力/エラーの修正
2	if文による分岐処理/if-else文による分岐処理
3	for文による反復処理/インクリメントとデクリメント
4	while文による反復処理/do-while文による反復処理
5	配列その1
6	配列その2
7	総合演習1
8	メソッド/メソッドの呼出し
9	文字列の操作
10	メソッドのオーバーロード/引数/戻り値
11	クラス/複数クラスを用いた開発
12	ソートその1
13	ソートその2
14	検索
15	相互演習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

なし

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ	井元和彦	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オブジェクト指向による開発をJavaにより行うための基本を身に付ける。

## 【講義概要】

文法の講義で学んだ内容を実機で動かして確認する。さらに、学習した機能を組み合わせてより複雑なプログラムを作成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	Java演習Ⅰの復習
2	インスタンスとクラス
3	コンストラクタ/コンストラクタのオーバーロード
4	クラスの継承/汎化と特化
5	クラスの継承/オーバーライド
6	総合演習1
7	抽象クラス
8	インタフェース
9	多態性(ポリモーフィズム)
10	カプセル化
11	コレクションその1
12	コレクションその2
13	ジェネリクス
14	日付と時間
15	総合演習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

なし

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法 I	井元和彦	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Javaによるプログラムの基礎を身に付ける。クラス、インスタンスなどオブジェクト指向の考え方を理解する。

## 【講義概要】

1年次に学習したC言語の知識をふまえながら講義を進める。

回	授業計画及び学習の内容
1	Java/JVM/ソースプログラムと中間コード/コンパイルと実行/エラー/変数と定数/型/宣言/予約語/文字列の入出力
2	if文による分岐処理/if-else文による分岐処理/条件の書き方/AND (&&) とOR (  ) /短絡評価
3	for文による反復処理
4	while文による反復処理/do-while文による反復処理/インクリメントとデクリメント
5	配列/拡張for文
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	メソッド/メソッドの呼出し/引数と戻り値/変数/変数のスコープ/変数の型と型変換
9	文字列の操作
10	メソッドのオーバーロード
11	クラス/複数クラスを用いた開発
12	ソートを行うプログラム
13	検索を行うプログラム
14	ここまでの復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

なし

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ	井元和彦	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Java言語を通して、オブジェクト指向の考え方を身に付ける。

## 【講義概要】

オブジェクト指向によるプログラミングを実践するための機能を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	Java文法Ⅰの復習
2	オブジェクト指向とは/インスタンスとクラス
3	コンストラクタ/コンストラクタのオーバーロード
4	クラスの継承/汎化と特化
5	クラスの継承/オーバーライド
6	まとめ
7	中間試験
8	抽象クラス
9	インタフェース
10	多態性(ポリモーフィズム)
11	カプセル化
12	コレクション
13	ジェネリクス
14	まとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%	20%				100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

なし

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	WEBプログラミング	砂賀 勝己	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

CGIとDBを用いたウェブサイトの構築手法について学習する

## 【講義概要】

言語としてphp、DBサーバとしてmysqlを使う。演習をメインとして理解力を深める

回	授業計画及び学習の内容
1	php概要、phpの基本文法・他言語との違い(変数、制御文など)、CGIとは
2	postによるデータの取得とページの生成、文字列を扱う関数
3	ファイル、ラジオボタン(Form要素)
4	連想配列、foreach、die、チェックボックス(Form)
5	正規表現－概要、記述法、関連関数－、配列操作1－追加/削除のメソッドなど－
6	配列操作2－ソート、コピー、ファイルへのデータの追加、正規表現応用
7	総合演習1
8	関数(ユーザ定義)、日付関数
9	ヒアドキュメント、table関係の要素、phpによる作表
10	cookie操作
11	phpとmysqlの連携1－mysql概要、接続/アクセスのための基本メソッド－
12	セッション管理、phpとmysqlの連携2－各種SQL文1－
13	phpとmysqlの連携3－各種SQL文2－、include
14	クラスの利用、getメソッド
15	総合演習3

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	JavaScript	未満 直樹	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Webアプリ開発欠かせないJavaScriptの基本的な文法からその利用方法までを総合的に学ぶ。

## 【講義概要】

JavaScriptの正しい文法知識からオブジェクト指向までを学ぶとともに実習を通じて理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	JavaScriptとは（歴史的経緯、各ブラウザの対応状況、開発に必要なツールなど）
2	JavaScriptの基本的な記法（定数／変数、データ型、演算子、制御文）
3	オブジェクト指向とは（クラス、プロパティ、メソッドなど）
4	関数、変数のスコープ
5	組み込みオブジェクト（new 演算子、プロパティ、メソッド、String、Number、Math）
6	組み込みオブジェクト（Array、Dateなど）
7	総合演習1
8	HTMLドキュメントの操作（クライアントサイド：DOMの基本）
9	DOM
10	クライアントサイドJavaScriptの応用（ブラウザオブジェクト、Storageオブジェクト）
11	クライアントサイドJavaScriptの応用（Ajax）
12	クライアントサイドJavaScriptの応用（Ajax）
13	クライアントサイドJavaScriptの応用（非同期処理）
14	総合演習2
15	総合演習3

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

（補足）  
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

改訂新版 JavaScript本格入門～モダンスタイルによる基礎から現場での応用まで

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	UML I	潮 達也	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLを活用できるようにすること。テーマはAstah Professionalを使いシステム要件に応じたダイアグラムが作成出来るようになること

## 【講義概要】

実習科目であるのでAstah Professionalの統合環境を使いこなし、基本表記から応用した表記までオブジェクトをどう捉えどう表現するかが実践出来るようにポイントを捉えて、描けるように学習していきたい

回	授業計画及び学習の内容
1	UMLとは オブジェクト指向とは Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明
2	ユースケース図 特徴 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題)
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き)
5	オブジェクト図 特徴 表記ルール 属性 関係 インスタントとクラス
6	オブジェクト図 演習問題(基本問題 応用問題 解放の手引き)
7	中間試験
8	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラスの関係
9	クラス図 関連 複数関連 集約 依存 汎化 コンポジション 実現 抽象クラス
10	クラス図 演習問題(基本問題 応用問題)
11	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題)
12	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ
13	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定
14	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 実践問題)
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%.15%	10%	5%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

- ・IT企業にて開発プロジェクトに従事 (SE)
- ・富士通のシステムソリューション部門でC言語の講義実習(2回)
- ・富士通ユーザーの情報システム部にてC言語・SQLの講義実習(1週間)

## 【教科書・参考文献】

技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版]



# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNA基礎 I	菊池 靖	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。

## 【講義概要】

ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	CCNA試験とは・コンピュータネットワークとは・OSI参照モデル
2	PacketTracerの使い方・Ciscoデバイスの基本設定
3	IPアドレス・IPv6・ICMP
4	ルータとルーティング・ルータIFのアドレス設定・PCのアドレス設定
5	スタティックルーティング・デフォルトルートの設定
6	ルーティングプロトコル・ここまでの復習
7	中間試験
8	RIPの設定・デフォルトルートの伝播
9	2進数・サブネットワーク
10	VLSM・サブネットの設計・RIPv2
11	IPv6ルーティング
12	仮想端末接続・Ciscoデバイスのセキュリティ
13	データリンク層とイーサネット・シリアル回線
14	ここまでの復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学・専門学校で情報系の授業を30年間担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Linux I	鈴木俊	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。

## 【講義概要】

各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。講義内での演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としての自習課題（レポート）も提出とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxのインストール
2	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）①
3	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）②
4	シェルのメタキャラクタ
5	標準入出力とリダイレクト
6	viエディタ
7	中間試験
8	パイプラインと grep コマンド
9	ユーザーとグループの管理
10	所有者管理とアクセス権
11	パッケージ管理
12	デバイスとファイルシステム
13	シェルスクリプト
14	バックアップとジョブスケジューリング
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		20%	40%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事  
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

## 【教科書・参考文献】

Linux I（ベーシック）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Linux II	鈴木俊	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバーの構築技術の基本の習得、また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の基本の習得を目標とする。

## 【講義概要】

各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。講義内での演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としての自習課題（レポート）も提出とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxのインストール
2	ネットワーク設定
3	Webサーバーの構築（Apache Webページの公開設定）
4	Webサーバーの構築（Apache 設定変更）
5	Webサーバーの構築（Apache 認証設定）
6	Webサーバーの構築（Apache PHPとMariaDBの連携）
7	中間試験
8	ファイルサーバーの構築（ftpクライアントコマンドの利用）
9	ファイルサーバーの構築（vsftpdの設定変更）
10	DNSサーバー（BIND）の構築
11	メールサーバーの構築（Postfixの利用）
12	メールサーバーの構築（DNSサーバーとの連携、Dovecotの利用）
13	SSHの公開鍵・秘密鍵認証
14	ファイアウォールの設定
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		20%	40%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事  
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

## 【教科書・参考文献】

Linux II（サーバー&セキュリティ）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策 I		鈴木俊	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
Linux Essentials 取得に必要な知識を身につけることを目標とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Linux コマンドライン操作の基本を身につけていることを前提として、Linux Essentials試験の問題対策を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	パス、ユーザ、コマンドの基本書式																				
2	シェル変数と環境変数																				
3	ファイルとディレクトリの操作																				
4	テキストファイルの操作																				
5	アーカイブの作成展開、圧縮と解凍																				
6	ここまでの復習																				
7	中間試験																				
8	テキストエディタvi、スクリプトの基本																				
9	各種ディレクトリの役割																				
10	ユーザとグループの作成削除編集																				
11	特殊なパーミッション																				
12	Linuxのディストリビューションとライセンス																				
13	SSHの公開鍵・秘密鍵認証																				
14	ここまでの復習																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td>20%</td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%		20%			100%
評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%		20%			100%															
(補足) <ul style="list-style-type: none"><li>成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li><li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li><li>レポートや自習課題は必ず提出すること。</li></ul>																					
<b>【教員紹介】</b>																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
教科書：JMAM Linux Essentials合格テキスト&問題集																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	データサイエンス		吉田 雅裕	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。

## 【講義概要】

ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	データサイエンスのプロセス
3	データ収集①（公開データ）
4	データ収集②（アンケート調査）
5	データクレンジング
6	データ集計
7	データ可視化
8	統計学基礎
9	統計的推定
10	統計的検定
11	連関分析
12	相関分析
13	データサイエンス演習①
14	データサイエンス演習②
15	データサイエンス演習③

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)			100%			100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

## 【教科書・参考文献】

吉田雅裕, 『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』, 技術評論社, 2023

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	進級制作	井元和彦	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

2年間の学びをベースとして作品制作を行う。制作はグループで行う。

## 【講義概要】

グループ内で役割を決め、企画から設計、制作、テスト、完成を目指す。各ステップの終わり、及び、制作の途中で経過の発表を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	グループ分け、企画、設計
2	企画、設計
3	企画、設計発表
4	制作
5	制作
6	制作
7	中間発表
8	制作
9	制作
10	制作
11	中間発表
12	制作
13	制作
14	制作
15	完成発表

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

なし

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	FE科目A対策Ⅱ	坂東 佑一	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験(FE)の合格を目指す。特に、本授業では科目A試験の対策を行う。

## 【講義概要】

本授業に価値が出るかどうかは、資格を取得できるかどうかすべてが掛かっている。合格すれば一生モノの資格が手に入り有意義な授業となる一方、合格できなければあまり価値の無い授業になってしまう。そのため、とにかく資格取得をストイックに目指す。授業では、配布する過去問を各人がひたすら反復して行い、不明点があれば随時教員に質問するスタイルとする。

回	授業計画及び学習の内容
1	FE科目Aの過去問演習
2	FE科目Aの過去問演習
3	FE科目Aの過去問演習
4	FE科目Aの過去問演習
5	FE科目Aの過去問演習
6	FE科目Aの過去問演習
7	中間試験
8	FE科目Aの過去問演習
9	FE科目Aの過去問演習
10	FE科目Aの過去問演習
11	FE科目Aの過去問演習
12	FE科目Aの過去問演習
13	FE科目Aの過去問演習
14	FE科目Aの過去問演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士)  
NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て、2020年2月～現職

## 【教科書・参考文献】

過去問を配布する

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	FE科目B対策Ⅱ	井元和彦	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験の合格を目指す。

## 【講義概要】

IPAが公開している問題等を題材とし、擬似言語とアルゴリズム、セキュリティについて学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズム
2	アルゴリズム
3	アルゴリズム
4	アルゴリズム
5	セキュリティ
6	セキュリティ
7	中間試験
8	アルゴリズム
9	アルゴリズム
10	アルゴリズム
11	アルゴリズム
12	アルゴリズム
13	セキュリティ
14	セキュリティ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

なし



# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	酒井 智子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

## 【講義概要】

身近で興味深い題材で実践的な会話音読を行い、楽しみながら語彙を増やし即戦力となる基盤を築きたい。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、5文型8品詞
2	Unit 1 空港で [文法：第1文型～第3文型]
3	Unit 2 マンションに到着 [文法：第4～5文型、自動詞と他動詞、There + be動詞+名詞] (1)
4	Unit 2 マンションに到着 [文法：第4～5文型、自動詞と他動詞、There + be動詞+名詞] (2)
5	Unit 3 お客様を迎える [文法：不定詞①・動名詞] (1)
6	Unit 3 お客様を迎える [文法：不定詞①・動名詞] (2)
7	中間試験
8	長文読解 "The Steve Jobs Story"
9	Unit 4 デパ地下でお買い物 [文法：不定詞② 形容詞的用法・副詞的用法・その他] (1)
10	Unit 4 デパ地下でお買い物 [文法：不定詞② 形容詞的用法・副詞的用法・その他] (2)
11	Unit 5 お花見 [文法：分詞] (1)、受動態
12	Unit 5 お花見 [文法：分詞] (2)、受動態
13	Unit 6 浅草へ行こう！ [文法：等位接続詞] (1)
14	Unit 6 浅草へ行こう！ [文法：等位接続詞] (2)
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。  
取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)

## 【教科書・参考文献】

【教科書】初級英語で紹介するニッポン -続・イングリッシュ・ワンス・モア！- (朝日出版社)  
【参考文献】The Steve Jobs Story (IBCパブリッシング)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	酒井 智子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

## 【講義概要】

身近で興味深い題材で実践的な会話音読を行い、楽しみながら語彙を増やし即戦力となる基盤を築きたい。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容	
1	Unit 7 秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞] (1)
2	Unit 7 秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞] (2)
3	Unit 8 平和への祈り	[過去完了形] (1)
4	Unit 8 平和への祈り	[過去完了形] (2)
5	Unit 9 京都旅行：新幹線の旅	[文法：話法①] (1)
6	Unit 9 京都旅行：新幹線の旅	[文法：話法①] (2)
7	中間試験	
8	Unit 10 茶道初体験	[文法：話法②] (1)、中間試験の解説
9	Unit 10 茶道初体験	[文法：話法②] (2)
10	Unit 11 京都の思い出	[関係代名詞①] (1)
11	Unit 11 京都の思い出	[関係代名詞①] (2)
12	Unit 12 日本滞在最後の日：築地市場～上野公園	[関係代名詞②] (1)
13	Unit 12 日本滞在最後の日：築地市場～上野公園	[関係代名詞②] (2)
14	Unit 13 日本の事象を英語で説明	[関係副詞] 読解
15	期末試験	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。  
取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)

## 【教科書・参考文献】

初級英語で紹介するニッポン - 続・イングリッシュ・ワンス・モア! - (朝日出版社)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネス数学	氏原 真代	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な数学の考え方、公式を理解する。特に割合の考え方を身につける。把握力・分析力・選択力・予測力・表現力のレベルを上げ、ビジネス数学検定に合格する。

## 【講義概要】

ビジネス数学検定で出題されるような計算問題を考える力を養う。毎回いろいろな分野の問題を扱うことで、問題に慣れ、自分なりの考え方ができるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	割合と百分率（1） 原価，定価，利益，値引き，売価，純利益
2	割合と百分率（2） 金利の計算，単利，複利
3	予測力（1） データからの予測，仕事算，作業時間，累積時間
4	予測力（2） 不等式，売上高の比較
5	選択力（1） 評価の重みづけ，期待値
6	百分率と割合・予測力・選択力のまとめ 演習問題
7	中間試験
8	グラフ（1） グラフの種類
9	グラフ（2） グラフを読む，グラフを書く
10	集合 ベン図，集合の法則，顧客調査
11	データの分布（1） 散布図，相関係数
12	データの分布（2） ヒストグラム，バブルチャート
13	選択力（2） 顧客管理
14	グラフ・集合・データ分布・選択力のまとめ 演習問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、12年ほど独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布，ビジネス数学検定3級

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識 I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な学力を身に付ける。
- ②就職試験の内容を理解し、就職活動に結び付ける。

## 【講義概要】

- ①一般常識
- ②SPI
- ③その他の検査 など

回	授業計画及び学習の内容
1	Lesson12, Lesson13, Lesson41 小テスト Lesson1
2	Lesson14, Lesson15, Lesson41 小テスト Lesson2
3	Lesson16, Lesson17, Lesson42 小テスト Lesson3
4	Lesson18, Lesson22, Lesson42 小テスト Lesson4, 5
5	Lesson23, Lesson24, Lesson43 小テスト Lesson6
6	Lesson25, Lesson26, Lesson43 小テスト Lesson7
7	中間試験
8	返却（解説） Lesson27, Lesson28 小テスト Lesson8
9	Lesson29, Lesson30, Lesson44 小テスト Lesson9
10	Lesson31, Lesson32, Lesson44 小テスト Lesson10
11	Lesson33, Lesson34, Lesson45 小テスト Lesson11
12	Lesson35, Lesson36, Lesson45 小テスト Lesson19
13	Lesson37, Lesson38, Lesson46 小テスト Lesson20
14	Lesson39, Lesson40, Lesson46 小テスト Lesson21
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
  - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

## 【教科書・参考文献】

就職筆記試験対策問題集（ムゲンダイ出版）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策 I	鈴木俊	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

自分にあった職に就くために行うとよい「自己分析」と「自己PR文の作成」の基本的な方法を習得することを目標とする。また、就職活動の方法を身につけること、必要となる準備を行うことを目標とする。

## 【講義概要】

各回、テーマに沿ったグループワーク、グループディスカッションを実施する。各回のワークに参加することを課題として、ワークを通じて記入したシートを提出する。また、レポート課題を提出とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	自分の「モノの見方」を考える
2	より良い就職とは何かを考える。職業選択理論
3	自分が就職に求めるもの考える
4	トレードオフを考える
5	人口減少・少子高齢化
6	中間試験
7	ES（エントリーシート）何をどう書く
8	ES（エントリーシート）の改善例
9	自己PR文章作成ワーク
10	自己PRポイントネタの注意点
11	履歴書作成ワーク
12	ビジネスメールの書き方
13	伝わりやすい文章の構成を考える①（論理の構成）
14	伝わりやすい文章の構成を考える②（グルーピング）
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		20%	40%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	鈴木俊	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

自分に合った仕事・働き方・就職先（志望企業）を考える力をつける。その上で、志望動機文章の作成、採用面接のための準備・練習を行うことを目標とする。

## 【講義概要】

各回のテーマに関するワーク（個人ワーク、グループワーク、グループディスカッション）を実施する。ワークを通じて作成したシートを課題として提出する。また、レポート課題を提出とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	会社選びのものさし①
2	会社選びのものさし②
3	市場規模とは何か
4	業界職種研究
5	法人の種類（会社以外の選択肢）
6	雇用形態
7	求人広告の見方
8	中間試験
9	グループディスカッション選考の対策
10	面接対策
11	個人面接ロールプレイ
12	キャリアプランを考える
13	不確実性の高い時代のキャリアの作り方
14	キャリアの転機、危機の乗り越え方
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		20%	40%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ	今村 朋子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。  
併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しを行う。

## 【講義概要】

授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験
8	電話の応対① 電話応対の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の応対② 電話応対の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)  
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

## 【教科書・参考文献】

「社会でいきる 実践ビジネスマナー」

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	簿記		木村和也	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

財務と会計は企業にとって非常に重要です。経営者が自社の経営判断を行ったり、第三者が企業の状況を分析するうえで必要となる知識を簿記や財務諸表の分析を通して学んでいきます。

## 【講義概要】

本コースでは、財務と会計に必要な専門知識である財務諸表から企業分析ができる能力を学んでいきます。会計や財務に関する正しい知識やスキルは、企業やビジネスにとって必要な概念であると同時に、これらを学ぶことはみなさんの人生にとっても有意義なものになるでしょう。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション
2	財務諸表とは
3	貸借対照表①
4	貸借対照表②
5	貸借対照表③
6	損益計算書①
7	中間試験
8	損益計算書②
9	キャッシュ・フロー計算書①
10	キャッシュ・フロー計算書②
11	財務諸表分析①
12	財務諸表分析②
13	財務諸表分析③
14	財務諸表分析（演習）
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。

## 【教科書・参考文献】

ビジネス会計検定試験公式テキスト3級



# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	情報処理科3年制 担当教員	無	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	学園祭準備（1日目、2日目）
3	
4	
5	学園祭（1日目）
6	
7	
8	学園祭（2日目）、後片づけ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%	100%

(補足)  
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】